

令和3年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号 s 5 1）

目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	1 自己実現…主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2 文武自考…主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進 3 情報発信…コミュニティ・スクールとして積極的に情報発信を行い信頼される学校づくりを推進

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)	
	B	概ね達成 (6割以上)	
	C	変化の兆し (4割以上)	
	D	不十分 (4割未満)	

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標				年 度 評 価 (2月1日現在)			実 施 日	
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	令 和 4 年 月 日
1	【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着し、現役4年制大学進学率は10年連続80%を超えている。 【課題】 システムは定着したが、次の課題への取組が必要である。 ①中長期的計画の構築 ②生徒の入学時の進路希望と卒業時の進路結果とのギャップを埋めるキャリア教育の構築 ③新学習指導要領移行への準備	授業力向上による確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 授業力向上研修等の充実 ICT教育環境の構築 3観点評価への研修と実践 生徒・保護者アンケートの改善と実施 「南高2030プラン」の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 授業力向上研修会を年3回以上実施 ICT教育環境の整備状況 観点別評価の研修会の実施 生徒・保護者へのアンケート調査内容の改善と具体的な取組状況 「南高2030プラン」の具現化ができたか。 				学校関係者からの意見・要望・評価等
		着実なキャリア教育の推進と進路実現に向けた計画的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 多角的なキャリア教育の立案と実施 生徒・保護者向け大学進学情報提供の充実 英語資格試験の合格率の向上 大学入学共通テストへの啓発 学習支援サービスの効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育計画の立案と実行 生徒・保護者向け大学進学情報提供回数 模試分析会の回数と共有状況 英検準2級以上の合格率9割 大学入学共通テスト受験者9割 学習支援クラウドサービスの利用状況と効果的な活用 				
2	【現状】 生徒の学校行事に意欲度は90.2%、部活動が盛んである意識度99.5%と高い。多様な探究プログラムの取組が定着してきていたが、コロナ禍で大きな制約が生じている。 【課題】 新型コロナ感染拡大防止の取組を踏まえ、安心安全な教育活動、部活動に取り組む必要がある。また、多様な探究プログラムがあるが、コロナ禍で制約もあり、総合的な探究の時間等と連動させながら再構築する必要がある。	主体的に取り組む生徒を育成するための特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> SDGsを活用した「総合的な探究の時間」の実践 コロナ禍における探究プログラムの一層の充実 生徒の主体性を引き出す学校行事の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な探究の時間」の実践回数と生徒の意識向上 探究プログラムへの参加生徒数 コロナ禍において生徒の主体性を生かした体育祭・文化祭等の学校行事が実施できたか。 				
		部活動の充実と安心安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体性を引き出し達成感を感じさせる部活動の取組 スポーツ&ビジネスによるSTEAMS教育と生徒の非認知能力伸長への取組 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の部活動への加入率と満足度 スポーツ&ビジネスへの登録者数と活用方法 従来の安全教育と共に、新型コロナ感染拡大防止へ具体的に取組んでいるか。 				
3	【現状】 地域社会と連携したコミュニティ・スクールとして情報発信に努めてきたが、コロナ禍により活動が大きく制約されている。 【課題】 本校教育活動への理解をさらに深めてもらうため、より一層の地域に開かれた信頼される学校づくりの推進と情報発信が求められる。	コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 近隣小中学校、辻地区、さいたま市及び南区との連携推進 学校運営協議会との連携・協働の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携方法と回数 学校運営協議会を通して地域と有益な連携・協働を行うことができたか。 				
		積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における安心安全で計画的な学校広報活動 学校HPの更新や新たな学校情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 学校広報活動の内容と回数 学校HP更新回数 文書、メール配信回数 				